

区分・種別	県指定有形文化財（彫刻）		
名 称	こんどうたんじょうぶつりゅうぞう 金銅誕生仏立像 1 軀		
所 在 地	松山市善応寺		
所 有 者	善応寺	管 理 団 体	
指定年月日	昭和55年3月21日		
解 説	<p>この立像は、像高10.3センチメートル、^{ちゅうどう}鑄銅製、^と鍍金、上体はややそり身に上半身裸形で下半身に^も裳を着け、右手は斜め上方に左手はまっすぐ下に伸ばした像である。</p> <p>像は、大正12～13（1923～1924）年ころ、善応寺付近の丘陵で土砂採取中に発見されたといわれ、前額部・鼻・右手先及び背面頭部に損傷があるが、厚手の鍍金がほぼ全面に残っている。小形の像であるが、まろやかな顔の形や腰裳の形、全体のプロポーションなどから、製作は奈良時代後期とみられ、大陸風の感じを受けるのも興味深い。</p>		

